

<評価> A：充実した取組を行った B：通常通りの取組を行った C：取り組んでいるが不十分である

推進目標3 “できること・したいこと”での参加を進める

【取組・評価の視点】

- ①多様な人が参加できる地域福祉活動を進める ②健康づくり・介護予防や生きがいづくりの活動を進める ③社会参加や就労を支援する ④参加を積極的に呼びかける ⑤活動をサポートする体制を充実する  
⑥活動場所や財源の確保、情報発信などの支援を充実する

(3) 「ひとり役運動」を推進し、気軽に参加できる機会を増やします ★

| 所管課    | 平成30年度取組  | 評価 | 評価の理由  |
|--------|---|----|--|
| 地域福祉課  | <ul style="list-style-type: none"> <li>活動先：介護保険施設等受入機関 26か所／ひとり役ワーカー登録者 139名(11月末時点) (①)</li> <li>受入事業所に障がい者施設が増え、幅広い活動ができるよう体制を整えた。(①, ②)</li> <li>福祉フェアでの啓発やひとり役ワーカー及び受入機関宛に「ひとり役通信」の発行を開始するなど、啓発に努めた。(①, ②, ④)</li> <li>生活支援体制整備事業において、地域支え合い推進員(生活支援コーディネーター)が、ひとり役活動推進事業の推進も担い、様々な活動を紹介することで、地域住民が地域福祉活動を始めきっかけづくりを行った。(①, ②, ④, ⑤)</li> <li>ひとり役ワーカー向けに認知症サポーター養成講座を実施し、ワーカーの活動時の不安の軽減や活動促進を図った。(④, ⑤)</li> <li>平成31年3月にひとり役ワーカー交流会を実施し、ワーカー同士のつながりをつくることで、活動の促進等を図る。(④, ⑤)</li> <li>広報あしや高齢者特集号に掲載し、周知を図った。(⑥)</li> <li>在宅の活動の増加をめざし、高齢者生活支援センター連絡会に事業の説明を行った。(⑥)</li> </ul> | B  | <p>【今年度工夫・努力したこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ひとり役ワーカー通信の発行やひとり役ワーカー向け研修の実施など、活動を促す取組を実施した。(⑤)</li> <li>幅の広い活動をしていただけるよう、障がい者施設等様々な活動場所の検討をした。(⑥)</li> </ul> <p>【残っている課題・次年度取り組みたいこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>若年層のワーカー登録者の増加</li> <li>在宅の活動者の増加</li> </ul> |
| 福祉センター | <ul style="list-style-type: none"> <li>館内に「ひとり役活動推進事業」のチラシを常時設置 (①～③)</li> <li>保健福祉センター利用者アンケートで、「ひとり役活動推進事業」の事業紹介を行った。(①～③)</li> <li>ひとり役活動受入機関(花苗植替作業)として登録し、活動場所となっている。(③～⑤)</li> </ul>  | B  | <p>【今年度工夫・努力したこと】</p> <p>保健福祉センター利用者アンケートで、「ひとり役活動推進事業」の事業内容や、福祉センター内で可能なひとり役活動場所も紹介し、周知を行った。(①～③)</p> <p>【残っている課題・次年度取り組みたいこと】</p> <p>登録者の増加をめざし、啓発活動に努める。</p>  |
| 防災安全課  | <ul style="list-style-type: none"> <li>防災訓練を実施 (①, ④)</li> <li>防災士の資格取得支援のための支援(補助金助成) (⑤)</li> </ul>   | B  | <p>【今年度工夫・努力したこと】</p> <p>小学校区ごとに防災士に目標を定めてもらい、実践していただいた。(防災倉庫の点検、貯水槽給水訓練等) (⑤)</p> <p>【残っている課題・次年度取り組みたいこと】</p> <p>防災士が積極的に活動している地域がある一方で、未だ防災士としての活動が行われていない地域もあるため、防災士が学んだ知識・ノウハウを地域に伝達していく役割を担えるようフォローアップが必要</p>  |
| 青少年育成課 | <p>キッズスクエアでは、地域住民(各約30名)にスタッフとして、子どもたちの見守り等を担っていただき協力を得ている。(8小学校のうち6小学校)キッズスクエアが地域住民にとって社会参加の機会となっている。(①, ③, ④)</p>   | B  | <p>【今年度工夫・努力したこと】</p> <p>スタッフの中で中心役となるマネージャー自らがキッズスクエア運営を積極的に進めていけるよう、サポートしている。(⑤)</p> <p>【残っている課題・次年度取り組みたいこと】</p> <p>地域住民がスタッフで運営している小学校は、日頃挨拶したりするという絆の構築にもつながっているため、現在、地域住民がスタッフとなっていない小学校についても、地域の新たな人材発掘を行い、キッズスクエアの体験プログラムやスタッフとしてより多くの方に参加していただけるよう働きかけたい。</p>                       |

<評価> A：充実した取組を行った B：通常通りの取組を行った C：取り組んでいるが不十分である

推進目標5 多様な“困りごと”を包括的に支えるサービスや活動を充実する

【取組・評価の視点】

- ①「公」のサービスの内容や提供体制を充実する ②地域の多様な力を活かした活動を推進する ③新たなニーズや狭間のニーズなどに対応する ④担い手を増やす・支援する  
 ⑤多様な主体や分野を超えた協働を進める ⑥複雑な課題を解決する取組を進める ⑦効果的で適正な情報共有を進める ⑧自立を支援するサービスや活動を進める ⑨担い手の意識やスキルを高める  
 ⑩利用者や第三者の意見を活かす

(9) “複雑な困りごと”の解決に向けた取組を充実します ★

| 所管課   | 平成30年度取組  | 評価 | 評価の理由   |
|-------|---|----|---|
| 地域福祉課 | <ul style="list-style-type: none"> <li>生活困窮者自立支援制度の改正を機に「生活困窮者自立支援制度にかかる窓口対応・相談支援ガイドライン」の改訂を行う。(平成31年3月) (①, ③, ⑤, ⑦, ⑧, ⑩)</li> <li>個別支援については、各課、関係機関と連携し、必要に応じて、介護や障がいのサービスの提供を含め、協働で取り組んでいる。(①, ⑤, ⑦)</li> <li>滞納の課題のある生活困窮者の生活再建に向けて、債権管理課と保険課及び社会福祉協議会と支援方法について協議を行っている。(①, ⑤, ⑦, ⑩)</li> <li>生活保護窓口と生活困窮者自立支援相談窓口との連携強化のため、30年度より連絡会議を開催している。(①, ⑦)</li> <li>ひとり一役活動推進事業において、ひとり一役ワーカーが高齢者の居宅において日常生活でのちょっとした困りごとの援助をすることで、地域での支え合いにより困りごとを解決する体制の整備を行った。(②, ④, ⑨)</li> <li>支援する世帯の課題は複雑に関連しているため、他部署との連携により支援を進めている。(③, ⑤~⑦, ⑩)</li> <li>30年度に改正された「生活困窮者自立支援法」に基づく相談事業等を主とし、生活困窮者の支援を行っている。(③, ⑤, ⑥, ⑧)</li> <li>地域福祉係におけるトータルサポート機能により、虐待対応や生活困窮者支援において、複合多問題等を抱える世帯に対して支援を行った。30年度実績(4~12月)新規120件(内訳:高齢者58件 障がい者11件 生活困窮者24件 制度外27件) (③, ⑥)</li> <li>生活困窮者の支援の現状・課題共有するための報告書の作成に取り組んでいる。(⑥, ⑦, ⑨)</li> </ul> | B  | <p>【今年度工夫・努力したこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>庁内連携を強化し、生活困窮者の情報提供を密に行い、早期に窓口につながるような仕組みづくりを行っている。(①, ③, ⑥, ⑦)</li> <li>在宅活動の増加を目的に、関係機関へ事業説明を行った。(②, ④)</li> </ul> <p>【残っている課題・次年度取り組みたいこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ひとり一役ワーカーの在宅活動の件数の増加</li> <li>庁内各課から生活困窮者自立支援相談窓口への紹介件数の増加</li> <li>生活困窮者自立支援相談新規相談件数の増加</li> </ul> |
| 生活援護課 | <p>継続ケースについては、さらに連携を継続する。新規ケースについては、初動からケース診断、対応に至るまで関係機関との協議を徹底する。(①, ⑦, ⑧)</p>  | B  | <p>【今年度工夫・努力したこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関と支援者会議を随時開催した。(⑦)</li> <li>併せて代表者会議にも出席した。</li> <li>要保護児童対策協議会</li> <li>生活困窮者連絡会(阪神間, 庁内外)</li> <li>保健所・警察等地域協議会</li> </ul> <p>【残っている課題・次年度取り組みたいこと】</p> <p>複雑な困りごとを抱えている世帯には、各機関が役割分担をし、専門性をもって関わり、早期解決を図る。</p>   |
| 障害福祉課 | <p>65歳到達時に、障がい福祉サービスから介護保険サービスへの円滑な移行を図るためのシステムづくりの検討を実施(⑥)</p>   | A  | <p>【今年度工夫・努力したこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>65歳問題プロジェクト会議を立ち上げ、障がい福祉サービスに携わる職員だけではなく、介護保険サービスに携わる職員にも参画してもらった。(④)</li> </ul> <p>【残っている課題・次年度取り組みたいこと】</p> <p>円滑な移行を図るためのシステムづくりを引き続き検討していきたい。</p>  |

| 所管課       | 平成30年度の取組   | 評価 | 評価の理由   |
|-----------|---|----|---|
| 高齢介護課     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・養護者によるもの、あるいは施設内での虐待を防止するために初期の段階で介入し、迅速な対応に努めている。(①)</li> <li>・権利擁護支援センターや高齢者生活支援センターと連携して高齢者の権利を守る取組を行っている。(①, ③, ⑥)</li> </ul>   | B  | <p><b>【今年度工夫・努力したこと】</b><br/>改訂した「養護者による高齢者虐待対応マニュアル」の研修を市内の居宅介護支援事業所に向けて実施し、虐待の早期発見への協力を促した。(④, ⑦, ⑨)</p> <p><b>【残っている課題・次年度取り組みたいこと】</b><br/>複合的な問題を抱えている高齢者への対応に関する関係機関との連携</p>  |
| 市民参画課     | <p>あしや市民活動センターにおいて年間400件以上の活動運営や、ボランティア活動等についての相談を受け、伴走型支援に取り組んでいる。(④, ⑧, ⑨)</p>  | B  | <p><b>【今年度工夫・努力したこと】</b><br/>あしや市民活動センターにおいて施設等、相談に来館できない団体に関しては、訪問相談をし、当事者からのお困りごと、今後の運営を伴走型で行えるよう工夫した。(④, ⑧, ⑨)</p> <p><b>【残っている課題・次年度取り組みたいこと】</b><br/>あしや市民活動センターにおいて今年度同様に伴走型支援を継続していく。</p>  |
| 上宮川文化センター | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民が我がこととして互いに気かけながら、見守りができる体制の充実(①～⑩)</li> <li>・行政内の関連する部署と、その都度連携して対応した(①～⑩)</li> </ul>  | B  | <p><b>【今年度工夫・努力したこと】</b><br/>西山手高齢者生活支援センター等と密に連携して取り組んだ。(①～③, ⑤, ⑦, ⑧, ⑩)</p> <p><b>【残っている課題・次年度取り組みたいこと】</b><br/>更に多くの関係機関との連携</p>  |
| 芦屋病院      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・芦屋病院の医療相談室では、外来・入院の患者・家族を対象に、治療内容や費用面など心配事の相談に随時対応(③, ⑥)</li> <li>・芦屋病院の地域連携室では、入院の患者・家族を対象に、退院後の住宅支援との連携、施設・転院紹介などを随時実施(⑤, ⑧)</li> </ul>   | B  | <p><b>【今年度工夫・努力したこと】</b><br/>・患者や家族に対して、ニーズに適した社会資源を提供した。(①, ③)<br/>・脳神経センター開設に伴い、多様な電話や窓口での医療相談に対応した。(③, ⑥)</p> <p><b>【残っている課題・次年度取り組みたいこと】</b><br/>継続実施</p>   |
| 青少年愛護センター | <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者相談センター「アサガオ」の相談業務を火曜日～土曜日(金・土曜日は相談員2人体制)に行い、延べ相談件数938件、対象者数75人(1月末現在)で、すでに29年度実績を上回っている。(①, ⑥)</li> <li>・また、相談者の親同士の支え合いの場として「親の会」を毎月第1日曜日に開催し、計48人の参加があった。(⑦, ⑩)</li> <li>・連続セミナー「こころを育てる聴き方・話し方」を6回開催し、計82人の参加があった。(⑧)</li> <li>・外へ出るきっかけをつくり、人と会話することを目的とした「キ・テ・ミル・会」はゆったりとした雰囲気です話を、聞く趣旨の会で11回開催し、計32人参加した。(⑨)</li> </ul> | A  | <p><b>【今年度工夫・努力したこと】</b><br/>・「キ・テ・ミル・会」を男女別に開催し、会話しやすい雰囲気を醸成した。(⑦, ⑧)<br/>・「親の会」に特別支援教育士を招き(ボランティア)、参加者にその知見によるアドバイスを行った。(⑦, ⑧)</p> <p><b>【残っている課題・次年度取り組みたいこと】</b><br/>・連続セミナー、「キ・テ・ミル・会」、「親の会」を「アサガオ」事業の3本柱と位置づけて継続して実施する。(ピアサポートによる支援の拡大)<br/>・アウトリーチによる相談業務は、実施の可能性も含めて検討する。</p> |